

4年ぶりに八田幼稚園児が乳牛とふれあい

10月13日(金)、コロナ禍を経て4年ぶりに綾部市立八田幼稚園の3才から5才、総勢19名の園児が当センターを訪れ、乳牛の乳しぼり、子牛の哺乳、エサやりを体験しました。園児たちは、初めて見る“大きな牛”に驚いていましたが、慣れると「怖くないよ、可愛いね!」と、牛を撫でたり、エサを牛の口元に持って行ったり、思い思いに牛とのふれあいを楽しみました。

今後も、幼少期の子供たちが牛とのふれあいを通して牛を身近に感じ、命の大切さや畜産の仕事について関心が持てるような機会を提供していきます。



牛さん、わたしがあげたエサを食べて!



ぼく、大きい牛も触れるよ



「乳しぼり」上手にできたよ



赤ちゃん牛はバケツでミルクを飲むんだね